

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化箇所）

担当課：有料道路課

担当課長名：木村 昌司

事業名	近畿自動車道 名古屋神戸線 菟野～亀山		事業区分	高速自動車 国道	事業主体	中日本高速道路(株)
起終点	自：三重県三重郡菟野町 至：三重県亀山市				延長	18km
事業概要						
<p>近畿自動車道名古屋神戸線は、名古屋市を起点として、四日市市、城陽市及び高槻市を經由して神戸市に至る延長約174kmの高速自動車国道である。本路線は、近畿自動車道名古屋関線、中央自動車道西宮線及び中国縦貫自動車道と接続し、中部及び近畿地域の広域ネットワークを形成し、産業・経済・文化の発展、広域的な連携による地域の自立の促進並びに活力ある地域社会の形成に欠くことのできない根幹的な基盤施設である。</p>						
事業の目的、必要性						
<p>菟野町～亀山市間の整備により、並行する近畿自動車道名古屋関線とのダブルネットワークによる道路交通の信頼性向上、大阪市～名古屋市間等の旅行時間短縮、近畿自動車道名古屋関線及び中央自動車道西宮線の混雑緩和・地域環境改善、三重中部地域の広域生活圏の住民生活・経済・産業・文化への貢献、地域計画の推進・実現、地域活性化への寄与といった効果が期待される。</p>						
全体事業費	1,798億円			計画交通量	42,600台/日	
費用対効果 分析結果	B/C	5.6	総費用	1,343億円	総便益	7,569億円
			事業費	1,215億円	走行時間短縮便益	6,970億円
			維持管理費	129億円	走行費用減少便益	407億円
					交通事故減少便益	192億円
基準年 平成17年						
感度分析の結果						
<p>交通量変動：B/C=6.4（交通量+10%） B/C=4.9（交通量-10%） 事業費変動：B/C=5.2（事業費+10%） B/C=6.2（事業費-10%） 割引率変動：B/C=4.9（割引率+1%） B/C=6.6（割引率-1%）</p>						
事業の効果等						
<ul style="list-style-type: none"> 指標6 主要観光地へのアクセスが向上する。 → 個性ある地域の形成（湯ノ山温泉などの観光地への支援） 指標9 地域振興プロジェクトに資する。 → 個性ある地域の形成（三重ハイテクプラネット21構想） 指標15 高速道路ネットワークの代替経路となる。 → 災害への備え（名神高速、東名阪道の代替路線） 						
他5項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見						
<p>未着工の四日市JCT～亀山JCTの整備に速やかに着手し、10年後には概ね完成させて頂きたい。特に、東海環状自動車道が接続する四日市JCT～四日市北JCTの整備の遅れが東海環状自動車道整備の支障にらぬよう進捗管理して頂きたい。（三重県）</p>						
事業概要図						

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。